システムセットアップガイド

本システムはコンパクトながら迫力あるドルビーデジタルや DTS サウンドで、あなたの部屋をホームシアターに変身させます。
このシステムセットアップガイドでは、はじめてこのシステムをお使いになる方のために、接続と設置のしかたを説明しています。

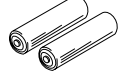
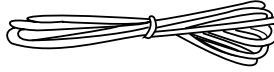
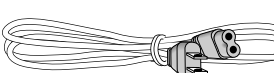
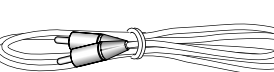
接続のしかた

- アンテナは必ず接続してください。アンテナを接続しないと FM/AM 放送が受信できません。
- 接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源コードを抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

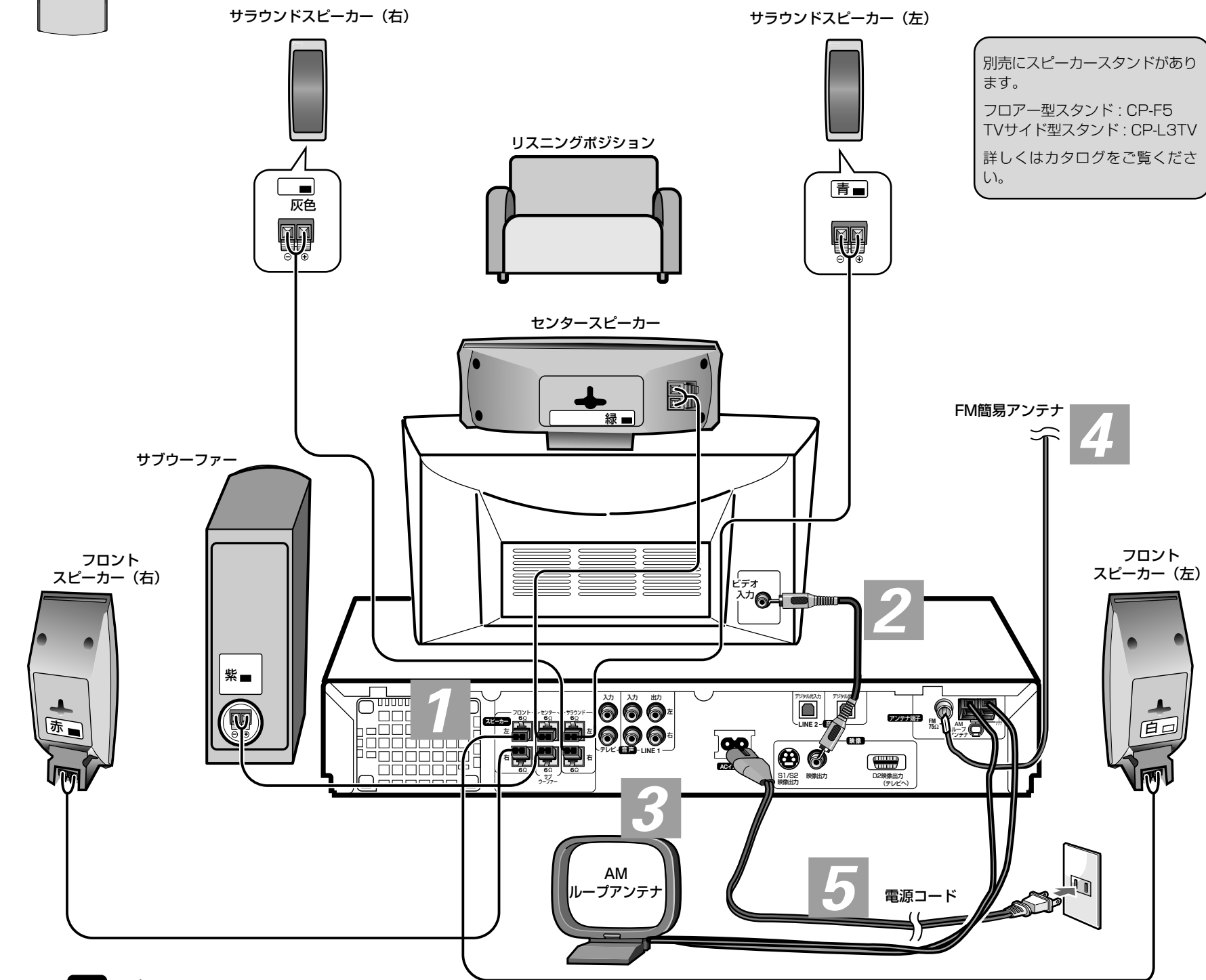
付属品の確認

[DVD/CD レシーバー部に付属]

- リモコン ×1

- 単3形乾電池×2（AA/R6P）

- AM ループアンテナ×1（図は組み立てた状態です。）
- FM 簡易アンテナ×1

- 電源コード×1
- ビデオコード×1

- 保証書
- 修理窓口・ご相談窓口のご案内
- 取扱説明書
- システムセットアップガイド（本書）
- 安全上のご注意

[スピーカー部に同梱]

- センタースピーカー ×1
- フロント / サラウンドスピーカー ×4
- サブウーファー ×1
- スピーカーコード
  5m（赤色のフロントスピーカー用）×1
  5m（白色のフロントスピーカー用）×1
  5m（緑色のセンタースピーカー用）×1
  10m（青色のサラウンドスピーカー用）×1
  10m（灰色のサラウンドスピーカー用）×1
  5m（紫色のサブウーファー用）×1
- 滑り止めパッド（小）×20
- 滑り止めパッド（大）×4

別売にスピーカースタンドがあります。
フロアー型スタンド：CP-F5
TVサイド型スタンド：CP-L3TV
詳しくはカタログをご覧ください。

1 スピーカーコードをつなぎます

スピーカーコードのコネクターの付いていない側の先端の被覆をねじりながら引き抜きます。

本体のスピーカー端子へスピーカーコードのカラーコネクターを差し込みます。
スピーカーコードはカラーコネクターの色と同じ色のスピーカー端子へ差し込みます。
スピーカー端子は上側と下側とで向きが異なるためカラーコネクターの向きを確認して差し込んでください。

スピーカー側の端子については、スピーカー端子のツメを押しながら芯線を端子に差し込みます。スピーカーコードのカラーチューブのある方を端子の赤側（⊕側）に接続します。カラーチューブのないスピーカーコードは黒い端子の⊖側に差し込みます。
（スピーカーコードのカラーチューブの色と、スピーカーのリア部に張られてあるラベルの色とを合わせます。）

本スピーカーを本システム以外のアンプで使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。

2 テレビと接続します

付属のビデオコード（黄色のプラグ）を本機の映像出力端子に接続します。
次に、ビデオコード（黄色のプラグ）の反対側をテレビの映像入力端子(VIDEO IN)に接続します。
本機では、S1/S2 端子や D2 端子からでも、テレビと接続することができます。詳しくは、取扱説明書の 94 ページ「**外部機器の接続のしかた**」をご覧ください。

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

メモ

- ◆ フロントスピーカー、サラウンドスピーカー、センタースピーカー、サブウーファーの底面の角4箇所に、滑り止めパッドを張り付けてください。
- ◆ 本スピーカーを本システム以外のアンプで使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。

3 AMループアンテナを組み立てます

台を外側に出します。　突起部を溝にはめます。　完成

壁に取り付けるには....
市販のネジや押しピンなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。
① ②

4 AMループアンテナとFM簡易アンテナを接続します

コードのカバーを回しながら引き抜きます。

AM アンテナ接続端子のつめを押しながら、AM ループアンテナのコードを端子に差し込みます。どちらをアース側の端子（⏚）につないでもかまいません。
コードを差し込んだら端子から指を離します。

FM 簡易アンテナは、中央のピンに差し込んでください。
またFM簡易 アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張ってください。

5 電源コードを本体と壁のコンセントに差し込みます

電源コードを本体の AC インレットに差し込みます。
次に電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。
はじめて電源コードをコンセントにつないだ時はデモモードになります。詳しくは取扱説明書の 20 ページにある「**デモ表示を解除しましょう**」をご覧ください。

6 スピーカーの設置

サラウンド効果を最大限に引き出すため、右の図のように各スピーカーを設置してください。

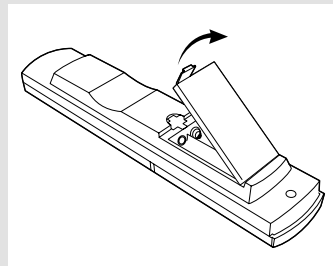
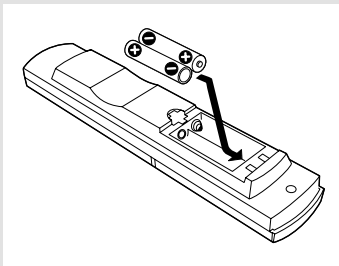
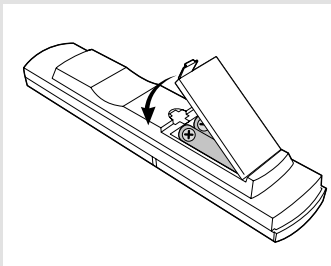
- 左右に置いたスピーカーはテレビから等距離になるように設置してください。
- センタースピーカーはテレビの下側に置き、センターチャンネルの音がテレビと同じ位置に配置されるようにしてください。もしセンタースピーカーをテレビの上に置くときは、テープなどを使用して適切な方法で固定してください。固定しないと地震などの外部の振動により、スピーカーがテレビから落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。
- サラウンドスピーカーは耳の高さからやや上方に設置すると効果的です。
- サラウンドスピーカーを視聴位置（リスニングポジション）から極端に離して設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されません。
- 本機のスピーカーシステムは低磁気漏洩設計ですので、テレビと組み合わせても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15～30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- フロントスピーカーとサブウーファーは視聴位置から等距離になるように設置してください。

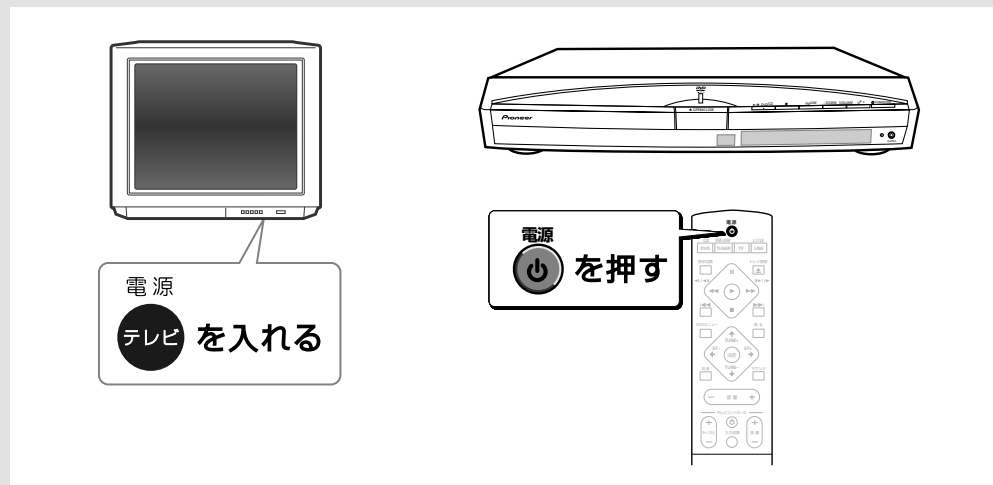
パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

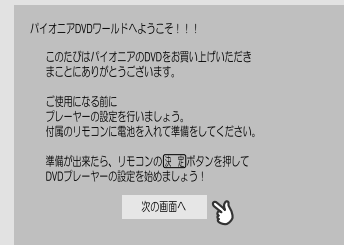
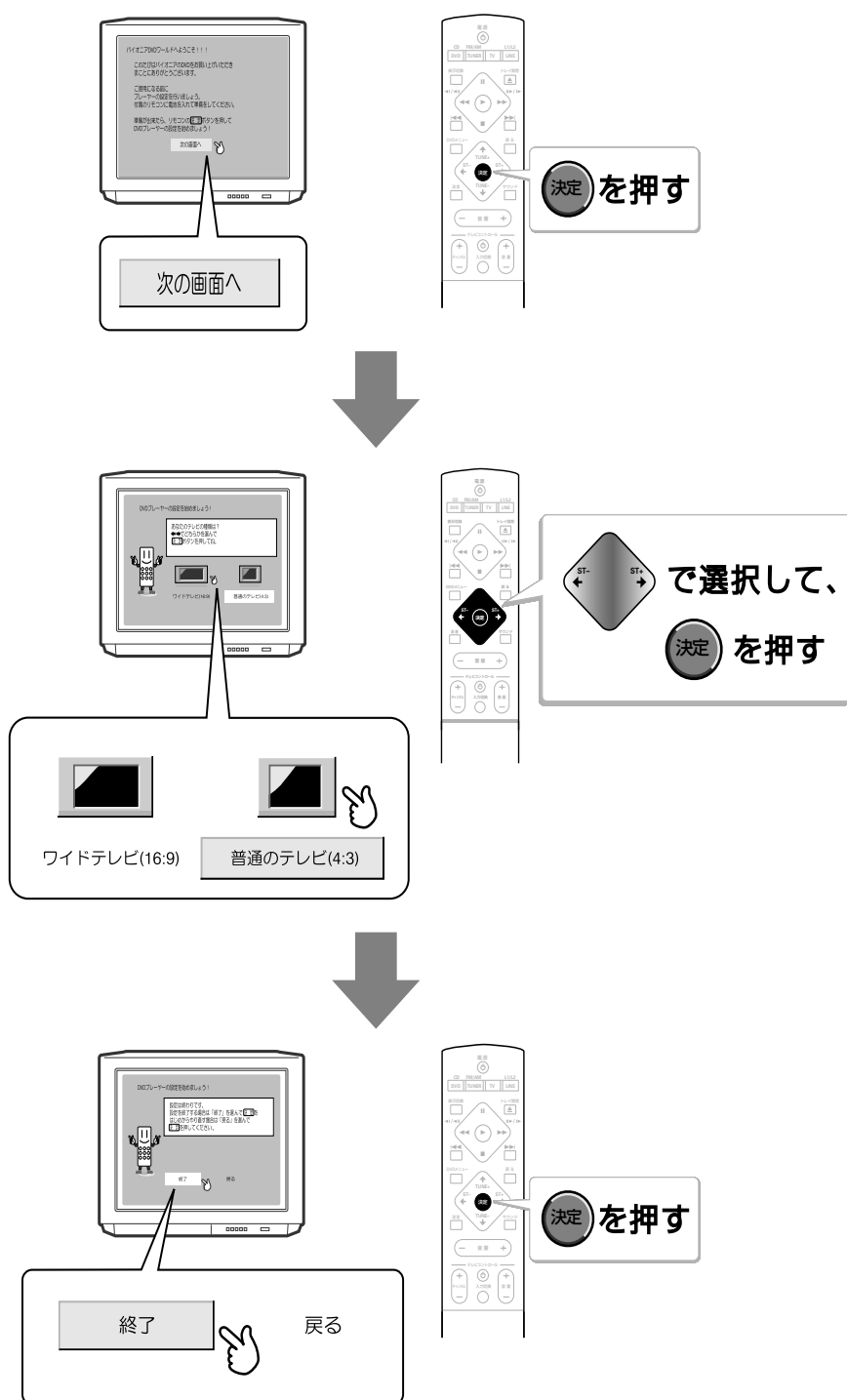
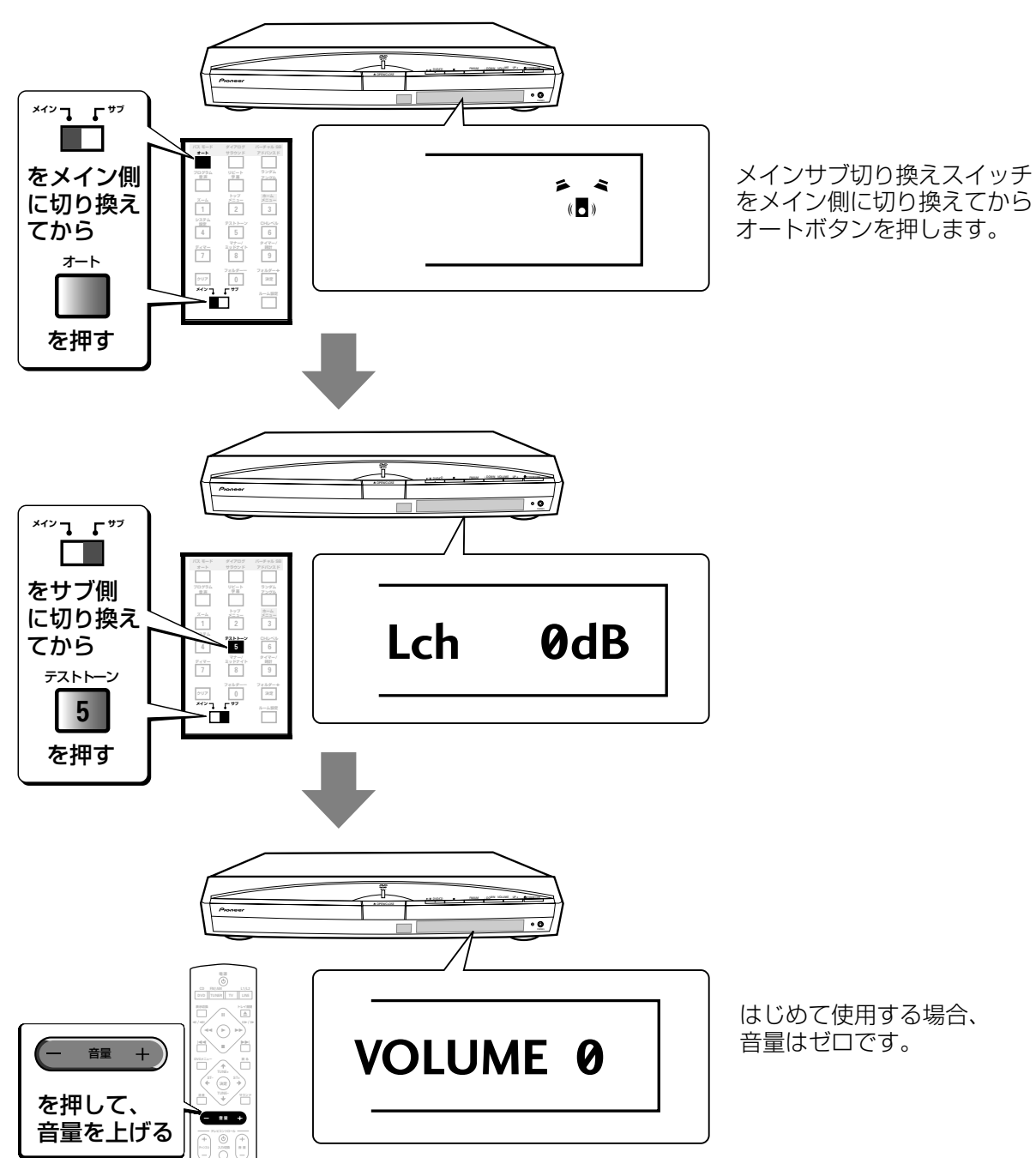
<XRA3011-A>

DVDを再生しましょう

付属のリモコンに電池を入れましょう

矢印の方向に、裏ブタを開く

ケース内に表記されている極性に合わせて、乾電池を入れる

裏ブタを矢印の方向に閉める

- ◆ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- ◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ◆ 長い間（1か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。
- ◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

電源を入れましょう

テレビの入力を切りかえましょう

下記の画面がテレビに映るように、テレビの入力切換ボタンで切りかえてください。（すでに設定が終わっている場合は、左下の画面は表示されずに、右下の画面が表示されます。）

テレビの種類を選びましょう

スピーカーの接続確認をしましょう

「ザー」というテストトーンが、すべてのスピーカーから順番に出ることを確認します。もう一度テストトーンボタンを押すとテストトーンは止まります。
テストトーンの出ないスピーカーがある場合は、もう一度裏面の接続方法を確認して、接続をし直してください。

再生しましょう